

報道関係者各位

2007年7月2日
NPO法人日本金融証券知識・情報普及協会
株式会社アmend

日本初の本格的株式投資オンライン検定「株式投資知識・技能検定 Kabu 検」開始 NPO法人日本金融証券知識・情報普及協会主催、アmend運営

NPO法人日本金融証券知識・情報普及協会(所在地:東京都港区、理事長:井畑 敏、以下JFS)と株式会社アmend(本社:東京都港区、代表取締役社長:尾坂和彦、以下アmend)は、日本で初めての本格的な株式投資オンライン検定「株式投資知識・技能検定 Kabu 検」を7月6日からインターネットで無料で開始します。「Kabu 検」はJFSが主催し、運営をアmendが行います。申し込みはアmendのホームページから受け付けます。

金融商品・サービスが多様化し、証券投資による資産運用が注目される一方、投資家の自己責任が強く求められる時代になりました。JFSとアmendは個人投資家が自己責任を全うするためには投資スキルの向上が不可欠です。個人投資家自らの投資スキルを把握することが投資スキル向上に役立つと考え、インターネットで手軽に無料で利用できる株式投資検定「株式投資知識・技能検定 Kabu 検」を開発しました。

「Kabu 検」は初級(問題数50問、回答持ち時間40分)、中級(問題数60問、回答持ち時間50分)、上級(問題数70問、回答持ち時間60分)と分かれており、株式投資初心者から熟練者まで対応しています。また出題範囲は、株の基礎知識、株式投資の実践、マーケット分析、ファンダメンタルズ分析、テクニカル分析、デリバティブ投資など株式投資の基本から専門分野まで広範囲です。

「Kabu 検」の利用方法はアmendのホームページから申し込みエリアにアクセスし、初級、中級、上級の受けたい検定を選択、さらにメールアドレスを入力すると検定ページのURLとID・パスワードがメールで届きます。ID・パスワードを検定画面に入力すると初級、中級、上級の検定試験が表示されます。解答はすべて複数解答からの選択式です。検定が終了し「テストの終了」ボタンをクリックすると自動的に採点が行われ、株式投資のスキルを細かくチェックできるスキル診断をオンラインで無料で発行します。JFSとアmendは個人投資家を対象とした「通信教育 株式投資講座(初級・中級・上級)」も共同で実施しており、「Kabu 検」は株式投資講座の内容と連動しているので、スキル診断結果に基づき講座を受けることで、より効果的に株式投資スキルを向上させることが可能となります。

「株式投資知識・技能検定 Kabu 検」の7つの特徴

株式投資についての知識・技能の実力を判定します。

無料で誰でもいつでもインターネットでご利用いただけます。

申し込みはメールアドレスの登録だけで簡単に受検できます。

初級(問題数 50 問、回答持ち時間 40 分)、中級(問題数 60 問、回答持ち時間 50 分)、上級(問題数 70 問、回答持ち時間 60 分)と分かれており、株式投資初心者から熟練者まで対応しています。

出題範囲は株式の基本から専門知識まで広範囲な分野です

(株の基礎知識、株式投資の実践、マーケット分析、ファンダメンタルズ分析、テクニカル分析、デリバティブ投資など)

問題はプログラムで自動的にシャッフルし出題するので、同一組み合わせはありません。

受検後、株投資知識・技能のスキル分析およびアドバイスが記載された「スキル診断」をオンラインで発行します。

各級ともお試し版を設けています(お試し版には「スキル診断」はありません)。